

# 差圧スイッチ (ピストンアクチュエーター)



SZ □□□ PD / SZ □□□ PDW



## ■ 主な特徴

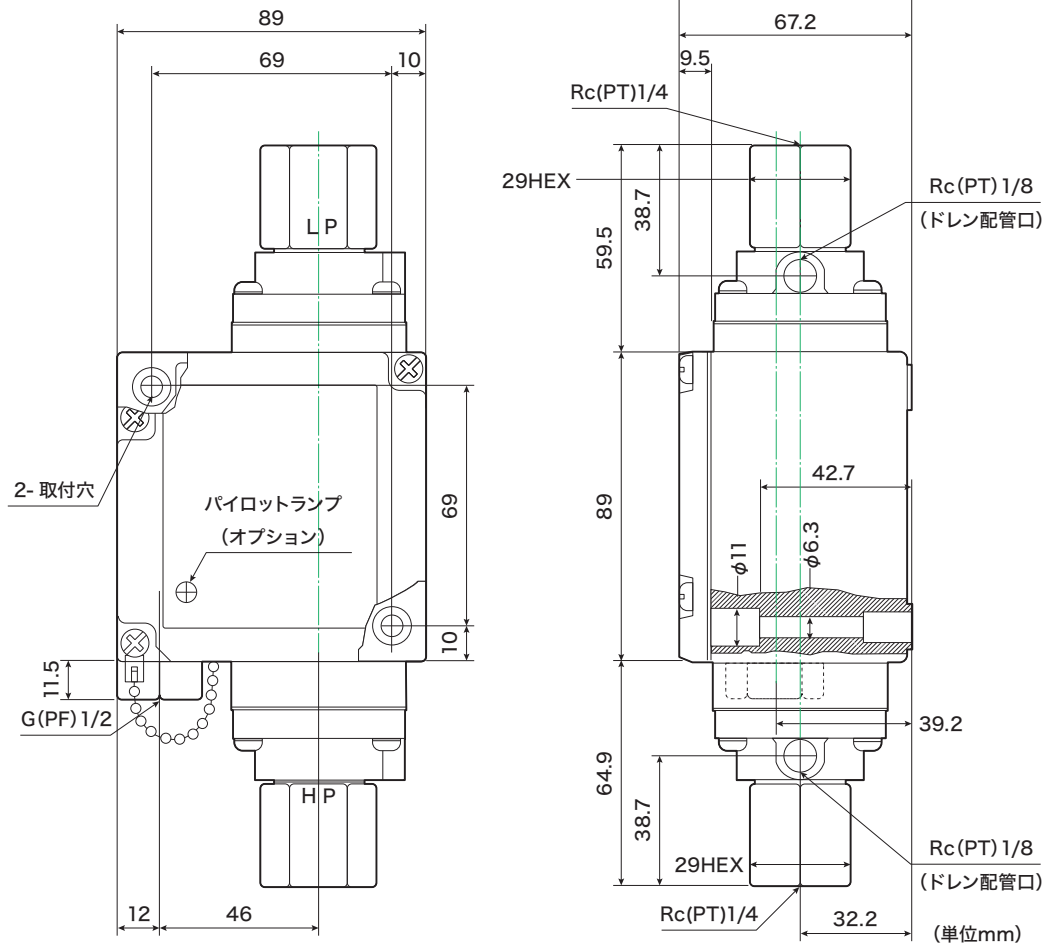
- 2つの異なる圧力間の差圧を検知するスイッチです。当スイッチは、差圧設定だけでなく、接断差の設定が可能になっています。
- 油圧に適した SUS420F ピストンを採用。
- 標準シール材質としてバイトンを採用しており、油圧のほか、多少潤滑性のある流体（ソリブルオイル）にも使用できます。また、エチレンプロピレンシールも選択可能です。
- 0.2 ~ 20.5MPa のレンジに対応。
- CCC、UL、cUL 認定品を必要とする場合、弊社にお問い合わせください。

マイクロスイッチタイプ	型式	レンジ MPa(kgf/cm <sup>2</sup> ) MIN. ~ MAX.	接断差* Hp,Lp 圧力差増大で動作 MPa(kgf/cm <sup>2</sup> ) MIN. ~ MAX.	差圧設定範囲 Hp,Lp 圧力差低下で復帰 MPa(kgf/cm <sup>2</sup> ) MIN. ~ MAX.	定格圧力 連続して使用 できる最高圧力 MPa(kgf/cm <sup>2</sup> )	耐圧 MPa(kgf/cm <sup>2</sup> )
SPDT	SZ070PD	0.2 ~ 7 (2 ~ 70)	0.3 ~ 1.3 (3 ~ 13)	0 ~ 7 (0 ~ 70)	7 (70)	35 (350)
	SZ210PD	0.5 ~ 20.5 (5 ~ 205)	0.7 ~ 3.8 (7 ~ 38)	0 ~ 20.5 (0 ~ 205)	20.5 (205)	70 (700)
DPDT	SZ070PDW	0.2 ~ 7 (2 ~ 70)	0.3 ~ 1.3 (3 ~ 13)	0 ~ 7 (0 ~ 70)	7 (70)	35 (350)
	SZ210PDW	0.5 ~ 20.5 (5 ~ 205)	0.7 ~ 3.8 (7 ~ 38)	0 ~ 20.5 (0 ~ 205)	20.5 (205)	70 (700)

- SPDT、DPDT 各々のタイプに接断差固定型があります。
- 接断差固定型の接断差は、接断差調整型の MIN. の値以下になります。
- MIN. の接断差は、差圧設定範囲のほぼ中間圧力での値を表示しています。シールドピストンのため、差圧設定範囲の中間圧力より低圧では表示の値よりやや小さく、高圧側ではやや大きくなります。
- SPDT、DPDT 各々のタイプにエチレンプロピレンシールタイプのピストンもあります。
- 本体側面に Rc1/8 のドレン配管口を設けてありますので、あらかじめドレン配管をしてご使用ください。ドレン排出口は、大気圧に開放してください。

型式	最小接断差 MPa(kgf/cm <sup>2</sup> )		
	低圧領域	中間領域	高圧領域
SZ070PD	0.3 (3)	0.4 (4)	0.6 (6)
SZ210PD	0.6 (6)	0.9 (9)	1.2 (12)

\* シールドピストン方式であるこれら 2 機種の最小接断差は、動作圧力に応じ表のように変化します。



SZ070PD / PED  
SZ210PD / PED

質量 約 1.40kg